



『学校教育目標』と『目指す生徒像』『目指す学校像』『目指す教師像』

『学校教育目標』

すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく

『目指す生徒像』

①自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒【持続可能な社会づくりに向け、自らを高め、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力（ダイバーシティ・インクルージョン）】（②③）

②自主自立の精神を強くもつ生徒【自己実現】（①）【実践力】（③）

③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒【リーダーシップやチームワーク、感性、優しさなどの人間性】（②）

『目指す学校像』

①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校

②生徒も教職員も「学が喜び」を享受できる学校

③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校

④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

『目指す教師像』

①人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にする教師

②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団

はぐくむべき資質・能力

社会生活における課題や問題を自ら発見し（①）、他者と協働して解決しようとする態度（②）や新たな考えを創造し実行しようとする力（③）（数字は目指す生徒像との関係を表す）

教育ビジョンと重点的にはぐくむ8項目

≪各教科等教育指導ビジョン≫…【別紙1「府中市立府中第八中学校教育指導ビジョン」】参照

≪重点的にはぐくむ8項目≫

- 豊かな知性・感性・社会性の育成
- 自己実現力（自己選択、自己決定、自己指導能力）の向上
- 規範意識の向上、基本的生活習慣の確実な定着
- 自ら考え表現する力の向上

- 自己肯定感、自己有用感の向上
- 主体的に学びに向かう力の向上（家庭学習定着・読書活動推進）
- 自治的能力向上（生徒会活動、学級活動等）
- 府中八中での地域防災等地域の安全を守る力の向上

本年度の教育活動実践課題解決状況

（学習面）・全国調査における授業や学習におけるPC、タブレットの活用に関する項目では、部分的に都の平均を上回った。「主体的・対話的」、「思考力・判断力・表現力」に関する項目では都の平均を大きく上回った。

- ・学習や生活に目標をもって取り組んでいる生徒の割合…88%（前期）→92%【前期比4ポイントアップ】
- ・防災に関する学習に意欲的に取り組んでいる生徒の割合…78%（前期）→94%【前期比16ポイントアップ】
- ・道徳の授業にしっかりと取り組んでいる生徒の割合…91%

- （生活面）・学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいる生徒の割合…95%（前期）→97%【前期比2ポイントアップ】
- ・交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っている生徒の割合…97%（前期）→99%【前期比2.8ポイントダウン】
- ・友達などに思いやりの気持ちをもって接している生徒の割合…97%（前期）→93%【前期比4ポイントダウン】

自転車乗用時のヘルメット着用努力義務が影響していることが考えられる。ポイントのダウンは生徒の意識の高まりと関係があると捉える。

課題・・・デジタル技術をフル活用した判断力、表現力を支える「見方・考え方」が働くより質の高い授業（教育活動）の実現  
課題解決に向けた重点・・・「個別最適化の実現」「デジタル技術活用能力の向上」

領域	中期経営目標	短期経営目標	●学校の自己評価結果の概要 ■スクール・コミュニティ協議会の評価の概要	次年度の努力事項
健全育成	・生命尊重の精神の育成を基盤とした生徒の自己表現力（自己指導能力）を高める生徒指導の実践 ・高い人権感覚、豊かな心を培う教育活動の実践	・一人一人の生徒の行動特性やコンピテンシーなどあらゆる多くの情報を基礎にした教育活動、生徒指導の実現 ・学校を主体とし、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にした戦略的教育活動、生徒指導の実現	●改定された生徒指導提要（文部科学省）を活用した事例研究を行い、生徒の自己実現力を育成する力を戦略的に向上させた。 ●協働的生徒指導により学校を起因とする解決困難な問題の発生件数0件を維持している。 ■生徒たちは自主的に青少年の行事（清掃、風作り、どんど焼きなど）にボランティアとして参加して自己効力感を高めている。 ■生徒会や専門委員会による主体的で工夫のある取組がすばらしい。大人が見習わなくてははいけない。	・自己実現力の向上のための取組の継続 ・保護者、地域、関係機関と協働した、人権感覚向上をねらった取組の実施 ・若手教員の協働的生徒指導力向上と組織対応力の強化
特別育支援	・個別最適化と共生社会を目指すダイバーシティ・インクルージョンの実現 ・障害に対する教職員の専門性を高め、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の実践	・一人一人の生徒の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場と指導、支援（ユニバーサルデザイン等）の充実を行う。  ・障害の有無に関わらない交流、共同学習の場の設定と教育活動を推進する。	●あらゆる教育活動でダイバーシティ・インクルージョンを強く意識した取組を実施した。 ●特別な支援が必要な生徒に対して的確なアセスメントを行い適切な進路指導を実施した。 ●いじめをはじめとする生徒が抱えるさまざまな深刻な悩みに対する対応のキーワードを「安心」と捉え、あらゆる場面で生徒に安心感をもたせる取組を行うことができた。 ■不登校生徒も特別な支援が必要であると考えている。外部専門機関やサポートルーム等の活用が大切である。	・学校におけるダイバーシティ・インクルージョンの推進 ・教員の特別支援学校教員免許取得意欲向上と支援 ・個別最適化を踏まえた特別支援教育の推進 ・合理的配慮の推進 ・生徒のソーシャルスキル、セルフアドボカシースキルの向上
健康・安全・体力づくり	・基本的生活習慣を改善・定着させ、運動・スポーツに親しむ元気な生徒を育成する取組の実践 ・主体的な安全文化の啓発と地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てる安全教育の実践	・面談等を活用した個に応じた健康教育を推進する。 ・部活動の取組を通したスポーツや芸術、文化に親しむ取組を推進する。  ・生徒会（生活委員会、保健委員会等）、部活動リーダーを中心に健康・安全への意識向上を実現する取組を推進する。 ・地域等と連携した安全、防災に対する取組を推進する。	●府中市民体育大会では中学校対抗部門で総合優勝するなどスポーツに対する意欲を高めている。 ●文化的行事や文化部活動の活動を通して生徒の感性が高まっている。 ■部活動は生徒の自己肯定感を高める取組であると捉えている。地域移行でどのように変化するかが懸念事項である。  ●例年実施している地域と連携した防災教育の取組では「実効的」をキーワードに（安全教育、安全管理、組織活動）を推進した。 ●保健体育科で扱う交通安全の学習では、教科等横断的な取組において教科を超えた見方・考え方を働かせる工夫を行った。 ■地域と連携した防災の取組は、将来地域の安全を担う生徒にとって重要な取組である。四谷小学校と連携した取り組みに発展させたい。	・基本的生活習慣確立に向けた健康教育からのアプローチの継続 ・PTA等と協働した取組の実施  ・生命（いのち）の安全教育の推進 ・実効的な安全教育の推進 ・地域と連携した防災教育の継続 ・生徒、教職員の安全行動能力の向上 ・点検表を活用した定期的な安全点検の実施
保護者・連携地域	・地域、関係機関等の人的、物的資源等外部資源を積極的に活用した学校主体の教育活動、研究活動、マネジメントの実践 ・ふるさと府中を愛する心を醸成し持ち続ける取組の実践	・スクール・コミュニティ事業を推進し、重点的にはぐくむ8項目の実現に向けた取組を行う。 ・地域の人材・環境・施設等の有効活用を推進する。	●地域防災での取組では地域の教育力を十分に活用した。 ●80%の生徒が自主的に参加した「ふるさと府中を愛する心をはぐくむ取組（防災活動、伝統行事等）」では地域コーディネーターを中心に地域の教育力を最大限活用した。 ●学校だより（年間24回発行）を活用した学校と保護者、地域等との双方向のコミュニケーションを実現した。 ■市制70周年の取組については、ふるさと府中を愛し、ふるさと府中を考える機会を増やしていきたい。	・学校経営支援部の職務内容整理 ・コーディネーターの学習支援面での活用
教特色活あ動	・オリンピック・パラリンピック教育の成果の活用と共生・共助社会と持続可能な社会の実現に向けた「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の実践 ・多様な表現活動をとおして、芸術文化のよさを発信できる生徒を育てる芸術教育の実践	・ふるさと府中で活躍する人材、ボランティアマインド、和太鼓、豊かな国際感覚を重点的に育成する取組を推進する。  ・合唱指導の充実を図り、生徒の感性を高める取組を推進する。	●パラアスリート（車いすバスケットボール）を招き共生・共助社会を考える機会を意図的に設定した。 ●日本人としての誇りについて規範意識をテーマに深く考える機会を意図的に設定した。 ■引き続き、生徒や保護者が高い規範意識をもち続ける取組を推進することが大切である。  ●合唱コンクール、音楽発表会を通して生徒の感性を高める活動を行った。 ■文化、芸術的な活動から生徒の感性の高まりを感じている。	・日本人としての誇りをもたせる活動の推進 ・『未来へつなぐ府中2020レガシー』の取組の推進 ・「キャリア・パスポート」の活用とふるさと府中で活躍する人材育成  ・芸術活動と体育的活動をバランスよく行うことによる生徒の感性を高める活動の推進
働き方改革	・教職員の心身の健康の増進 ・教職員としての誇りやがいをもって職務に専念できる環境の整備 ・学校の教育活動の質の向上	・副校長等校務改善支援事業の活用及び効果的实践 ・学校経営支援事業による専門スタッフの活用及び効果的实践 ・地域コーディネーターの活用と効果的实践	●副校長等校務改善支援員による副校長業務支援を適切に実施した。 ●学校日誌等の電子化を実現した。 ■教職員としての誇りややがいを発信できるようにさせたい。	・教職員の自己管理能力の向上 ・デジタル機器の効果的活用による業務改善の推進 ・学校経営支援部の業務の整理
服務規律	・服務規律の徹底 ・服務の厳正	・非遵行為による服務事故0の継続 ・教育公務員としての不適切な言動0の継続	●服務事故防止に向けた校長だよりを年間14回発行し研修に活用した。 ●特設する服務事故防止研修を年度当初5日連続で集中的に実施した。 ●特設研修と関連させた定期的、日常的な服務事故防止研修を、企画調整会議、職員朝会、職員連絡会時に実施した。 ■引き続き、服務の厳正への高い意識をもち続けられる取組の継続が大切である。	・自校、他校のヒヤリハット事案の共有と危機管理意識向上 ・非遵行為による服務事故0の継続

※キーワードとしたい文言に下線を引きました。